

## 備前市教育に関する大綱（案）に対する意見募集の公表について

備前市教育に関する大綱（案）に対して、追加のご意見を含め総合教育会議の考え方は下記のとおりです。

なお、未回答箇所（生涯学習に関するもの）につきましては、回答が作成でき次第、改めて掲載させていただきます。

貴重なご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

意見募集期間 令和8年2月9日（月）～27日（金） 意見募集結果 6件（6名）

No.	該当部分等	意見等の要旨	ご意見に対する総合教育会議の考え方
1	基本方針	<p>○教育における人口減少問題への取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の社会科において人口減少問題を取り入れ、子どもにも関心を持ってもらいたい。</li> </ul> <p>○備前市歌の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校での音楽はもとより、教育活動の様々な場面で市歌を取り上げていくことで、子どもたちに市の良さを感じてもらえるのではないか。</li> </ul>	<p>○小学校社会科副読本「備前市たんけん」において、合併による人口や暮らしぶり等の変化について扱っています。市の大きな課題の一つである、人口減少問題や、外国人との共存などについて、学びを深めていきたいと考えています。</p> <p>○市歌につきましては、郷土への愛着や誇りを育む観点からも意義あることだと認識しています。いただいたご意見については、機会を捉えて各校長へ伝えてまいります。なお、学校における具体的な教育内容については、学習指導要領を踏まえ、各学校の教育課程の中で適切に判断されるものと考えております。</p>
2	各取組項目	<p>○学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ICT」の文言は今更感が強く、逆に情報リテラシー教育にも重点をおくべきでは</li> <li>・読解力不足が指摘されている昨今の子供たちには、読書体験等、アナログな環境が不足しているのではないか</li> <li>・理想を掲げてそれに邁進することも必要だが、確実に基礎をかためる地道さを忘れてはならないと思</li> </ul>	<p>○ご意見の通り、情報機器の活用だけでなく、情報を適切に読み取り判断する情報リテラシーの育成や、読書体験など読解力の基盤となる学びも重要であると認識しております。本市では、ICTの活用を目的とするのではなく、探究的な学びを支える一つの手段として活用するとともに、読書活動の充実や豊かな歴史・文化・自然への体験活動などを通して、人としての基盤づくりを通じて確かな学力の定着を目指します。</p>

		う。派手さより、堅実さを表明してほしい。	
3	基本理念・基本方針	<p>【1 番目】 基本理念「徳育・知育・体育」について</p> <p>【意見の内容】 勉強より先に「心（徳育）」を土台にする方針に、子育て中の親として共感します。</p> <p>ただ、「自制心」という言葉が、学校で「とにかく我慢しなさい」「周りと同じようにしなさい」といった、昔ながらの精神論や厳しい指導にならないかと少しだけ心配になりました。</p> <p>市の会議で教育長さんがおっしゃっていたように、子どもたちにはただ感情を押し殺すのではなく、「自分の気持ちをうまくコントロールする力（自己管理能力）」を育ててほしいと思います。</p> <p>現場の先生方へのサポートもぜひよろしく願いいたします。</p> <p>【2 番目】 基本理念、および基本方針「歴史文化の活用と伝統文化の継承」について</p> <p>【意見の内容】 前回の計画にあった「ローバル人（備前に根差して世界で活躍する人）」という目標がどこにもなくなってしまったのが少し気になりました。</p> <p>備前の歴史や伝統を大切にすることはとても素晴らしいことですが、方針が少し「内向き」になってしまわないか心配です。</p> <p>これからの時代、子どもたちには世界と関わる力がどうしても必要になってくると思うので、英語教育や、世界に目を向けるグローバルな学びも大切にしてほしいで</p>	<p>○ご意見ありがとうございます。</p> <p>現場へのサポートを進めながら。引き続き推進してまいります。</p> <p>○ご意見ありがとうございます。</p> <p>歴史や伝統を守ろうとすることは、閉鎖的、保守的に感じられるかもしれませんが。しかし、備前の本質を理解し身に着けることで、外部の人との関わりを深め、また、新たな感性や価値が生まれると考えています。</p> <p>また、グローバルな学びにつきましては、今後も引き続き推進してまいります。</p>

		す。	
4	基本理念・基本方針・各取組項目	<p>1 番目 1 ページ目表紙 徳知体育の背景にピンク色の逆三角形があるせいで文字が見えにくいですが何かを表現しているのでしょうか。</p> <p>地域と行政と学校の3つの輪とありますが、公立小中学校は行政の一部ではないのでしょうか。3つの輪とは何を表現しているのでしょうか。</p> <p>2 番目 3 ページ目 生涯学習の充実 気軽に学べる機会を充実するとありますが、公民館が土日休館で使用できなかつたり、貸出可能なスポーツ用品が1式揃っていないものがあるなど、そもそも環境が整っていないのではないのでしょうか。機会だけでなく環境から整えることを考えてほしい。</p> <p>3 番目 3 ページ目 スポーツ・レクリエーション活動の推進 様々な形でスポーツを楽しむことを起点とした取り組みに見えますが、レクリエーション活動については何も表現されないのでしょうか。</p>	<p>○「徳知体」「夢中が伸ばす無限の可能性」等のキャッチフレーズを受けて、各取組（学校教育、就学前、スポーツ、歴史文化…）が「徳」に繋がり、相互に連携するということが分かりやすいように図で表しています。確かに図と文字が混在するため見えにくくなっている点は認識しておりますので、いただいたご意見を踏まえて、教育委員会とも協議し、次期大綱を策定する上での参考とさせていただきます。</p> <p>○地域と学校と行政が連携し、行政と教育委員会が協力して学校教育から生涯学習を含め地域に暮らす人々に、地域の実情に合う形での教育振興を行っていくという意味を表しています。</p> <p>○「スポーツ・レクリエーション活動」とは、競技性よりも、心身の楽しみや交流を目的として行われる身体活動のことを言います。スポーツ基本法では、スポーツを競技としてだけでなく、心身の健康や喜びを得るための身体活動と広く定義しており、誰もが気軽に親しめる「スポーツ・レクリエーション活動」が不可欠な要素として位置づけられています。そこで、本市においても</p>

		<p>4 番目 4 ページ目 就学前の教育・保育の充実 就学前教育の質とは何を示しているのでしょうか。向上は現在の状態（基準）から良くなることだと思いますがその基準となる指標や目標は示されるのでしょうか。</p> <p>5 番目 4 ページ目 学校教育の充実 基本方針には「徳」を基盤とするとありますが、各取組項目に「徳」を育てる内容が盛り込まれていないように感じました。重視するのであれば徳を基盤とすることが分かる項目が必要ではないでしょうか。</p>	<p>年齢、性別、体力の差、障害の有無に関わらず、誰もが気軽に「ニュースポーツ」を楽しめるよう環境整備を行っています。世代を超えた交流を促し、地域コミュニティの活性化にも繋がるものと考えています。</p> <p>○就学前教育は、子どもたちが生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担っています。教育・保育施設では多様化する保育需要に応えられる体制整備が求められており、総合的な質の向上が必要です。基準となる指標や目標については「備前市総合計画」や「備前市教育振興基本計画」において設定しています。</p> <p>○ご意見ありがとうございます。1点目の徳育につきましては、本市の学校教育における重要な基盤であると認識しており、知育・体育を支える根幹として位置づけていると捉えています。</p> <p>今回お示ししている「学校教育充実」の各項目は、個別に独立したものではなく、相互に関連しながら子どもたちの豊かな人間性の育成にもつながるものです。例えば「ICTや地域の教育資源を活用した探究学習の推進」では、地域の人々との関わりや協働的な学びを通じて、他者を尊重する態度や社会性、主体性を育みます。また、「多様な学びを支える環境づくり」においても、一人一人の違いを認め合い、互いを思いやる心を育てることを重視しております。</p> <p>このように、徳育は特定の項目として切り分けるのではなく、各取組全体につながる理念として反映しております。</p>
--	--	---	---

	<p>不登校の子供が増えている実態のなかで、学校での教育を前提とした取り組みしかありません。不登校の子供への教育については触れないのでしょうか。</p> <p>コミュニティスクールの推進とありますが、そもそも導入されていない学校の方が多く、まずは導入の検討がなされるべきはないでしょうか。</p> <p>検討の中で地域・学校に合うのか判断してから推進した方がよいのではないですか。</p> <p>6番目 4ページ目</p> <p>すべての項目に充実や推進とありますが、目標や指数などは示されないのでしょうか。</p> <p>今回案の各取組項目にはどうやってするのかといった具体性や目標がほとんどありません。現在の大綱の方が内容が充実しています。情報量もかなり減らされていますがページ数や文字数に制限でもあるのでしょうか。</p> <p>もっと市民に取り組みたいことや重視していることが伝</p>	<p>2点目についてです。不登校児童生徒への支援は本市において重要な教育課題の一つであると認識しており、学校復帰のみを前提とするのではなく、一人一人の状況に応じた多様な学びの場の確保が必要であると考えています。</p> <p>ご指摘の内容につきましては、「多様な学びを支える環境づくり」に含んでおり、学校内での支援に加え、教育支援センターをはじめ、地域のこどもの居場所、発達支援に関わる関係団体との連携を通じて、学校外も含めた多様な学びや育ちの場を整えていくことを想定しています。今後も学校に行きづらい児童生徒が安心して学び、社会とのつながりがもてるよう、それぞれの実情に応じた支援の充実に努めてまいります。</p> <p>3点目についてです。コミュニティ・スクールにつきましては、地域と学校が目標や課題を共有し、協働して子どもたちを育む仕組みとしてその意義は大きいと考えております。本市5中学校区において、既に4中学校区でスタートしております。各学校や各地域にはそれぞれ異なる実情や特色があることから、一律に進めるのではなく、学校や地域の状況を丁寧に踏まえながら進めてまいります。</p> <p>○本大綱は、できるだけシンプルで理解しやすい構成や表現に努めることとしており、そのため各取組項目には全ての詳細な施策ではなく、重点的に取り組む項目を掲載しております。</p> <p>なお、事務の執行権限は教育委員会が有してしますので、具体的な目標や取組内容については、教育委員会において示される教育振興基本計画によるものとなります。</p> <p>実施にあたっては、ご意見に示された事項について留意しながら進めてまいります。</p>
--	---	---

		わる大綱として頂きたいです。	
5	基本方針・各取組項目	<p>まず、P3基本方針の【就学前の教育・保育の充実】についてです。「家庭・園・地域・学校の積極的な連携により、一人ひとりの発達や学びが切れ目なくつながる環境づくりを目指します。」とありますが、現在の備前市は発達障害などの特性を抱える子どもたちの支援が、他の自治体に比べてかなり遅れていると感じています。ですので、この連携の中に専門家（発達支援コーディネーター・言語聴覚士など）を加えていただきたいです。発達障害は集団生活が始まる段階で発覚するケースが多く、早期発見、診断により適切な支援と療育を受けることが二次障害（うつ病・不登校など）の防止につながります。しかし、備前市ではそのような子どもたちの発見、保護者への相談・伝達が各担任の裁量に任されているように感じます。保育士、幼稚園教諭、学校教諭は発達障害の専門家ではないので、今のままの仕組みではいわゆる支援漏れの状況が改善されません。ですので、早急に現場の先生方が相談できる窓口が必要ではないかと思います。専門家を配置する事で、先生方の相談窓口になり、子どもたちに合わせた手厚い支援につながるだけでなく、園・学校と保護者との架け橋としての機能、保護者支援・ケアとしての役割も果たすのではないのでしょうか。「一人ひとりの発達や学びが切れ目なくつながる環境づくり」に必要な要素ではないかと思います。</p>	<p>○園では、支援を要する園児への対応につきましては、専門家との連携もおこなっています。地域との連携には発達支援だけでなく、子どもたちに関する様々な立場からの連携が必要と考えています。「一人ひとりの発達や学びが切れ目なくつながる環境づくり」のための一つの要素として参考とさせていただきます。</p>

		<p>2番目にP4各取組項目の【学校教育の充実】に「ICTや地域の教育資源を活用した探究学習の推進」とありますが、備前市のICT教育は各学校により取り組み方に差があります。学校単位だけでなく、担任によってもかなり差があるのではないのでしょうか。一人に一台タブレット端末が支給されているのに、住む地域によって教育の内容に差があるのは問題だと感じています。また、学習の内容も子どもたちからの情報しかなく、実際にどのような内容のものがどの程度行われているか全くわかりません。教育委員会からの配布物にも使用されているアプリケーションと個人情報の取り扱い方についてしか記載がありません。ICT教育を推進していくなら、まずは学校単位ではなく、市全体で一定のカリキュラムを組み、それが保護者に可視化される仕組みが必要ではないかと思えます。</p>	<p>○ご意見ありがとうございます。学校だけではなく、保護者や地域とともに連携していくことが大事であると考えております。</p> <p>「ICTや地域の教育資源を活用した探究学習の推進」のためのご意見として、参考にさせていただきます。</p>
6	基本方針・各取組項目	<p>[基本方針・各取組項目]</p> <p>●生涯学習</p> <p>○「多様な生涯学習機会の充実」とあるが、備前市の公民館講座などは毎年同じような内容のものが多く、他自治体に比べて魅力がない。多様どころか毎年同じ内容の繰り返し。高齢者の利用に重きを置いており、こどもや若者が集える企画や仕組み作りが必要と感じる。</p> <p>○公民館を利用する際の情報が無い。ネットで料金や規約が出てこない。利用しづらい。窓口の担当者レベルで予約ができたりにできなかったりする。</p> <p>○公民館認定団体も時代に合わせて規約の変更が必要だと思う。認定団体になるためにいくつものハードルがあ</p>	

	<p>り、気軽に利用することができず諦めた。</p> <p>○公民館は親がいなくても子どもたちだけで行ける居場所になり得ると思うが、施設の老朽化や設備が古く、遊べない。(卓球の台はあるが、ラケットはないなど)生涯学習を充実させるということであれば、必要な予算を取ってほしい。</p> <p>○伊部公民館の移転後、調理室を作ると聞いたがその後の進展もない。災害時の避難所や生涯学習機会の充実、市民間交流の推進として必要ではないでしょうか。</p> <p>○ビーテラスのフリースペースが、夕方以降中高生のたまり場になるから閉鎖されたと聞いた。たまり場になるから「閉鎖」という結論ではなく、『世代を超えた交流』ということであれば放課後の居場所の確保として、民間やNPOなどと連携し、ちゃんと大人の目の届く中での中高生の居場所の仕組みを作るべきではないでしょうか。</p> <p>●就学前の教育・保育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「就学前の教育・保育の充実」に保育教諭の働き方改革が記載されているが、これがどう具体的に保育の充実につながるのか関連性が不明のため説明が欲しい。</li> <li>・備前市には児童館がなく驚いた。民間のNPOが市から委託という形で就学前の居場所を運営しているが、利用者が多くなく利用者よりスタッフの方が多い、備前市外の方が多いという話もよく聞く。ではなぜ、備前市民が利用しないのか原因を調査し、利用向上に向けてことが必要ではないでしょうか。それは委託する行政の役目だと思います。就学前の教育を必要な人に届けるため</li> </ul>	<p>○ICTの活用や、働き方の見直しなどにより、保育教諭の負担軽減につながります。時間や心の余裕から、より豊かな園児へのかかわりができるようになることで、保育の充実につながると考えています。</p> <p>○就学前教育は、園だけでなく様々な立場からの連携が必要と考えています。「一人ひとりの発達や学びが切れ目なくつながる環境づくり」のためのご意見として参考とさせていただきます。</p>
--	---	--

	<p>に税金を活かしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館がないため、こども・その保護者がライフステージが変わるごとに支援や居場所を変えなければいけないことも見えない負担になっていると思う。児童館があれば就学前から小学校の放課後まで一貫して利用することができ、子どもも保護者も安心感がある。</li> <li>・障害に気が付くタイミングはこども園など就学のタイミングが多いと思います。しかしながら、保育士が積極的に保護者に指摘することをためらい、支援につながるのが遅れるパターンが多く聞かれます。倉敷市や他自治体では言語聴覚士などのこどもの発達の専門家が、園を巡回し保育士へ支援の必要なこどもへの指導方法をつたえたり、保護者との相談面談を行っています。備前市でも早急に取り入れ、支援の必要なこどもが安心して過ごせる園づくりに取り組んでほしいです。</li> <li>・こども園でも小学校のように特別支援クラスを作してほしい。支援が必要な子どもたちが30人もの大きなクラスに詰め込まれて個別配慮もなく苦しんでいる様子はかわいそうです。義務教育ではありませんが、こども園に行きたくない「不登園児」もいます。</li> <li>・こどもの発達障害などの対応に外部の専門家を入れてほしい。子ども園の先生も小学校での特別支援や福祉については詳しくなく、市の職員も福祉制度や支援先についてよく理解していない人が多く、保護者の負担が大きい。</li> <li>・園、学校、行政そして家庭の連携が必要と感じる。生涯学習に通じるが、ペアレントトレーニングなど、家庭で</li> </ul>	<p>○就学前教育は、園だけでなく様々な立場からの連携が必要と考えています。「一人ひとりの発達や学びが切れ目なくつながる環境づくり」のためのご意見として参考とさせていただきます。</p> <p>○こども園では、臨床発達心理士が巡回し、保育教諭への支援や指導も行い、子どもたちが安心して過ごせる園づくりに取り組んでいます。</p> <p>○こども園には特別支援クラスはありませんが、必要な場合は、クラスに加配保育教諭を配置し、過ごしやすい環境づくりを行っています。</p> <p>○保育教諭の専門性が発揮・向上できるよう、また学校での特別支援や福祉への理解についても深めていくよう、研修機会の確保を行っています。</p> <p>○ご意見のとおり、家庭、園、地域、学校の連携が必要です。</p>
--	---	---

	<p>の教育力の向上も目指してほしい。</p> <p>●学校教育</p> <p>・「徳」の要素はどこに？心の教育に関する内容がないが方針として大丈夫なのでしょうか？</p> <p>・コミュニティスクールがよくわからない。仕組みについてはわかっていますが、備前市でこれから進めようとしている、目指している「コミュニティスクール」についてご提示ください。</p> <p>・コミュニティスクールが学校ごとによって必要なところとそうでないところがあるのではと思います。PTAのあるなし、学校ボランティアの人数などによっても変わってくる。今現在の形からどう変わり、何を目指しているのでしょうか。</p> <p>・「多様なまなび」は具体的にどこをさしていますか？</p> <p>・多様な学びが「学校のみならず子どもが多様な学びを</p>	<p>○ご意見ありがとうございます。</p> <p>1点目の徳育につきましては、本市の学校教育における重要な基盤であると認識しており、知育・体育を支える根幹として位置づけていると捉えています。</p> <p>今回お示ししている「学校教育充実」の各項目は、個別に独立したものではなく、相互に関連しながら子どもたちの豊かな人間性の育成にもつながるものです。例えば「ICTや地域の教育資源を活用した探究学習の推進」では、地域の人々との関わりや協働的な学びを通じて、他者を尊重する態度や社会性、主体性を育みます。また、「多様な学びを支える環境づくり」においても、一人一人の違いを認め合い、互いを思いやる心を育てることを重視しております。</p> <p>このように、徳育は特定の項目として切り分けるのではなく、各取組全体につながる理念として反映しております。</p> <p>○2点目のコミュニティー・スクールについてです。本市では、学校・家庭・地域が目標を共有し、協働して子どもを育てる仕組みとして導入を進めています。ご指摘の通り、地域ボランティアの数、文化や産業などの特色、学校規模等、学区ごとの実情はことなっています。それぞれの実情を踏まえ、まずは学校と地域がともに語り合う機会をしっかりと設けていくことが大切であると考えております。その上で、地域の人や文化、資源に触れながら、地域を愛し、地域に誇りを持てる子どもを育てることを目指していきます。</p> <p>○3点目の多様な学びについてです。不登校児童生徒を含め、すべての子どもが状況に応じて学びを継続できる環境を整えるこ</p>
--	--	---

	<p>選択できる」という意味であれば、岡山市のようにフリースクールの補助金を出すことを検討していただきたい。現在は学校に行くことのできない子は親の経済状況によって勉強できるかどうかが決まっています。教育機会均等法を揺るがず状況となっていることをご認識ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの障害名で支援級に入れるかどうかを決めるのではなく、全ての支援を必要とするこどもが教育を受けられるよう制度の見直しをしてください。他自治体に比べ大きく遅れを取っています。</li> </ul> <p>●歴史文化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の文化や歴史施設は知られていないし言ったこともないところが大半。</li> <li>・瀬戸内市図書館のように館内に展示するなど、公民館や図書館を活用し学びにつなげてほしい。人件費の削減にもなる</li> <li>・SNS等もあるようだが全然動いていないので、積極的に仕事してほしい</li> </ul> <p>●スポーツレクリエーション</p>	<p>とは重要であると認識しております。本市では「多様な学びを支える環境づくり」の中で、教育支援センターや地域の居場所、関係団体等との連携を進め、学校内外も含めた多様な学びの場の確保に取り組んでいるところです。今後も個々の状況に左右されず、子どもたちが必要な学びにつながるができるよう、支援の充実に努めてまいります。</p> <p>○4点目についてです。本市としても、支援を必要とするすべての子どもが、それぞれに適した教育を受けられることが重要であると考えており、特別支援学級に限らず、通常の学級における支援、通級による指導など、多様な支援の在り方を組み合わせながら対応しております。今後とも、国・県の制度や動向を踏まえつつ、子ども一人一人に必要な支援が適切に届くよう、教育環境の充実に努めてまいります。</p> <p>○各施設では、季節ごとの展示やイベント等を実施していますので、備前市ホームページや観光マップ等を活用し、ご来館ください。</p>
--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ささえる」は何を想定しているのでしょうか。お示しください</li> <li>・今後の部活動の地域展開の計画を示してください。</li> <li>・体育館やプールなど、利用するための情報を出してほしい、ネットで検索しても借り方も、利用時間もわからない。指定管理者のHPは壊れかけていて、行政がお金を出しているのであれば「HPぐらい見やすくしなさい」と言えないものなののでしょうか。</li> <li>・eスポーツを入れてほしい。時代に合わせて進化してほしい。数年前にそんな話もありましたがどうなったのでしょうか。津山市などは高齢者のレクリエーションにeスポーツを取り入れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「する」「みる」「ささえる」という3つの参画形態を「スポーツのライフサイクル」として国が体系化したことから、これらの言葉を使用しています。「ささえる」とは、スポーツ環境を維持・発展するために不可欠な活動であり、具体的には、ボランティア、指導、審判やイベント運営など多様な関わりを想定しています。</li> <li>○今後の部活動の地域展開の計画について、現在具体的にお示しできるものではありませんが、令和7年12月に国が示した部活動改革に関する新たなガイドラインに沿って進め、令和13年度末までに休日の部活動を完全移行したいと考えています。</li> <li>○「利用してみたい」と思っただけの施設となるよう、指定管理者と連携し周知に努めて参ります。</li> <li>○eスポーツの導入については、ビーテラス3階への導入について検討いたしましたが、常設の導入には至っていません。これまでスポーツイベントのほか、介護やSDGsに関連したイベント等で活用した実績がありますので、活用方法について今後も検討したいと考えています。</li> </ul>
--	---	---